

**2022 年度(令和 4 年度)**

**学校関係者評価報告書**

**学校法人 東北外語学園  
東北外語観光専門学校**

## 2022年度（令和4年度） 学校関係者評価報告書

本校の学校関係者評価は、本校と関係のある学外の方を評価者として選任するとともに「学校関係者評価委員会」を設置して実施しております。委員会は学校評価を適切かつ客観性や透明性を高めて行うために、関連業界の関係者や本校卒業生等から複数で構成しております。

実施方法は、「自己評価」の結果を「学校関係者委員会」に報告し、関連業界の専門的な知見からのアドバイスや、様々な観点からご意見を頂戴して、教育活動並びに学校運営等の質の向上に努めていきたいと考えております。

2022年度「学校関係者評価委員会」を実施しましたので、下記通りご報告させていただきます。

1. 対象期間：2022年（令和4年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日

2. 実施日時：2023年（令和5年）6月2日（金） 18:30～20:00

3. 実施場所：東北外語観光専門学校

### 4. 学校関係者評価委員会

#### 【学校関係者評価委員】

曾根 洋明 氏      公立大学法人 宮城大学  
基盤教育群 教授  
国際交流・留学センター 副センター長

今野 英治 氏      東日本急行株式会社 係長

水上 奈央子氏      (有)八千代 杜のホテル仙台 社員

日出山 隆司氏      学校法人東北外語学園（同窓会幹事長※卒業生）  
※当日欠席予定だったため、事前に自己評価をご報告し、ご質問、ご意見等を頂戴した。

## 【事務局】

橋本 二郎	校長 国際交流センター センター長
千葉 直樹	校長
武田 祐子	専門教育センター センター長 キャスウェルホテルアンドブライダル専門学校 教頭
橋内 秀中	利府第二おおぞら幼稚園 園長
佐藤 学	日本国際学園大学開学準備事務局 局長
屋代 励子	専門学校事務室 室長リーダー

## 5. 学校関係者評価報告

### (1) 教育理念・目標

- ・学生の多くはこれまで答えのある課題に取り組んできた。専門学校では答えのない、または答えが一つではない課題に取り組むことを通して、考える過程に重点を置いた教育を行ってほしいとご意見を頂いた。

### (2) 学校運営

- ・「学園年休」、「疾病休暇」制度について、法定年休の残数がなくなった場合でも、この制度を利用することで急な休みに対応できるのはとても素晴らしいことなので、このまま継続してほしいとお褒めの言葉を頂戴した。
- ・日本の給与水準はここ数十年変わっていないが、最近は賃上げをする企業も増えている。日々真摯に仕事に取り組んでいる職員の皆さんにも労働の対価が反映されるようにしてほしいとのご意見を頂いた。

### (3) 教育活動

- ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携の具体例について質問があった。  
現場の第一線で活躍されている方に授業を行って頂いたり、空港やホテルの見学実習等を行ったりすることによって、実践的な知識や技能を習得していると回答した。
- ・英検の社会的価値が変わってきた中、外語での英検の取り組みについて質問があった。  
現在も就職活動で英検が評価されていること、TOEIC と併せて勉強することで相乗効果が得られることから、英検の授業は継続していくと回答した。

- ・ 学生一人一人の出席率を把握し指導するのは手間がかかると思うが、どのように管理しているかと質問があった。

担任が学生の出欠状況をリアルタイムで把握するように努め、出席不足で単位を落とすことがないように指導するようにしている。労力を要するが、学業面のみならず生活面を支援するためにも必要なことと考え、今後も出席管理は続けていくと回答した。

#### (4) 学修成果

- ・ 取得率が下がった検定試験について質問があった。

取得率が下がったことも問題だが、受験率が下がったことも問題だと考えている。教職員が適切にクラスコントロールを行い、学生の授業に臨む姿勢の改善につなげ、受験率、取得率ともに上げたいと考えていることを伝えた。

- ・ 前年度に退学者が増加した原因について質問があった。

いじめやクラスの悪い雰囲気にならなくなり退学した学生がいた。精神に問題を抱えた学生も増えているため、学校と保護者、スクールカウンセラーが連携し対応することで、退学者を減らす努力をしていると回答した。

- ・ 人手不足の現在、職種を選ばなければ売り手市場の状況にあるため、就職してもすぐに辞めてしまう人も多くいる。就職率だけではなく、離職率にも目を向け、在学中に長期的な視点でキャリアを考える指導も必要ではないかと、アドバイスを頂いた。

#### (5) 学生支援

- ・ 卒業生が就職した後も学校を訪れ、悩みなどを相談してくれることについて、母校に相談窓口があるのは素晴らしいことだとお褒めの言葉を頂いた。

#### (6) 教育環境

- ・ 語学教育に関しては、特にネットを介した方法は大変効果があると思う。発言量の増加や発話の聞き取りやすさ向上が期待できるとアドバイスを頂いた。

Wi-Fiを全館に整備できるよう努めていることをお伝えした。

- ・ 円安と物価高の影響で海外研修の費用が高騰している中、どのようにコストダウンを図っているかというご質問があった。

以前よりも学生の費用負担が大きいため、学校が主催して団体で研修に行くことは難しくなった。希望する学生には外部の留学エージェントを紹介し、留学をサポートできる環境を整えていると回答した。

## (7) 学生の受入れ募集

- ・学校の良いところを伝えることができれば、自然と学生は集まってくると思うと  
激励の言葉を頂いた。

## (8) 財務

- ・令和4年度は予算編成時の学生見込数より入学者数が下回り、経常収支は赤字となつた。令和5年度については、黒字化に向けて予算を編成し、経費削減に努めており、中長期的には問題ないとお説明した。  
単年度の赤字は問題ないが、2年連続赤字にならないよう注意してほしいとお言葉を頂いた。

## (9) 法令遵守

- ・特に意見、質問等はなし

## (10) 社会貢献・地域貢献

- ・休日に検定試験の会場として教室を貸し出す場合、職員の労働負担が増えないように注意してほしいとお話があった。

現在は、教室の貸し出しを行っていないので、休日の教室貸し出しによる職員の負担という問題は発生していない。

## (11) 国際交流

- ・近年、事件や事故に巻き込まれる留学生のニュースを度々見聞きする。慣れない国に来て、悪いバイトの勧誘やお金心配などから、生活が乱れることもあると思う。担任だけでなく学校全体で留学生を見守り、良い教育を受けられるようにしてほしいとお意見を頂いた。  
学業、生活の両面において、丁寧に指導している。今後も安心して留学生活を送れるよう努めていくと回答した。